

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 市原市立辰巳台西小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒290-0004
千葉県市原市辰巳西4-16

E-mail tatsunishi-e@koumu.ichihara-chb.ed.jp

Website www.ichihara-chb.ne.jp/tatsunishi-e/

児童生徒数 男子 235名 女子 212名 合計 447名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 地域とつながる福祉交流 ）

3. 活動内容

1 活動の概要

子どもは地域の中で育てる、地域と共に育つ。子どもと大人が支え合い助け合うことのできる地域社会をつくり出していくことが、未来社会へとつながっていく。

本校では、全学年にわたり福祉の分野で地域の「ひと」や「もの」に関わり、体験的な学習や活動を通して実践を積んでいる。

2 実践内容

(1) 各学年の取り組み

学 年	取 り 組 み
1 年	昔遊び体験 保育所・幼稚園との交流活動
2 年	町探検
3 年	福祉体験教室 学区内福祉探検 辰巳台のじまんをさがそう
4 年	花植え活動
5 年	敬老会会食（ふれあいサロン）
6 年	敬老会ボランティア活動 キャリア教育学習（職場体験学習）

(2) 具体的な取り組み

① 3年生 福祉体験教室～やさしさ いっぱい 辰巳台～

辰巳地区福祉協議会の出前授業「福祉について知ろう」での話と車椅子体験や老人体験などを通して、自分たちがこれからできることや積極的に地域と交流していかなければならないことに気付いた。この学習の後、グループに分かれて、辰巳台の域内にはどのような福祉に関する設備があるかを調べた。これらの活動を通して福祉をより身近に感じることができた。



アイマスク体験では、白杖を使ってペアの友達に助けをもらいながら歩いた。目の不自由な方が音や感覚を頼りに歩いていることが分かった。



車椅子の人には、細やかな声かけが大切だ。声をかけてもらうと、段差やがたがたした道も少し怖くなくなった。乗る人の気持ちが分かった。



手足不自由体験では、ゴーグルや手足に付ける器具をつけて、豆をお皿に移す活動に挑戦した。いつもより難しくてみんな苦労していた。

② 4年生「花植え活動」

辰巳台まちづくり協議会の方が中心となって、子どもたちに地域を愛する心を育てていく目的で、年二回花植え活動を行っている。春にはマリーゴールドを、秋にはパンジーを植えた。草取りも行いながら、バランスよく植え、色鮮やかな花壇が出来上がった。



まちづくり協議会の方から、どんな地域にしていきたいか、また花植えのやり方をお話してもらった。



シャベルで穴を掘り、マリーゴールドを植えた。元気に育ってほしいと願いを込めて植えた。



片づけや、草取りもがんばった。ラベンダーとマリーゴールドのきれいな花壇ができた。

③ 6年生「敬老のつどい」

辰巳台地区の「敬老のつどい」にボランティア19名が参加した。出席された地域の皆様に席に案内したり、学校で児童が作ったしおりとお弁当を手渡したりと、優しい声掛けをいただきながら、笑顔で活動をしていた。茶室では茶菓子と抹茶を出す活動も行い、お客様との会話もはずんだ。



地域を作り上げてくれた皆様に感謝の気持ちを持って活動できた。



学校で作ったしおりをプレゼントし、喜んでいただいた。



お客様に茶菓子や抹茶を出す、貴重な経験ができた。いきいきと案内をしていた。

3 成果と課題

地域の「ひと」や「もの」に関する活動は、老人・障害者など、世代や立場の違った人々とどう向き合い、どう接していくかを考えるよい機会となった。これらの活動を通して、児童の学びに深まりや広がりが見られ、道徳教育にもつながっている。

カリキュラムの中で様々な取り組みを行っているが、社会人になった時も引き続き地域に積極的に関わっていくところには至っていないのではないか、という思いが課題として残される。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）